

様式第2号(第3条関係)  
(会派用)

令和7年度政務活動費交付申請書

令和 7 年 9 月 19 日

湯沢市長 様  
(湯沢市議会議長経由)

会派の名称 湯沢政策研究会  
代表者氏名 共同代表 大山 豪

湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第3条第1項の規定により、次のとおり申請します。

交付申請額 135,345円

<内訳>

(単位:円)

科 目	支 出 額	備 考
調査研究費		
研修費	141,425	141,425円 (うち政務活動からの充当額135,345円)
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
事務費		
支出合計	141,425	

参考:申請上限額

交付月額	議員数	交付対象月数	上限額
10,000円	2人	7月	140,000円

既交付額 0円



## 様式第3号(第3条関係)(会派用)

## 政務活動費実績報告書

会派の名称 湯沢政策研究会

代表者氏名 共同代表 大山豪

整理番号	年月日	内 容	経費項目	支出額	備考
1	令和7年 8月26日 ～ 8月28日	[日程]  1) 令和7年8月27日(水) 午前11時30分から  令和7年8月28日(木) 午前11時まで  [場所]  札幌文化芸術劇場hitaru  【研修事項】  1) 全国市議会議長会研究フォーラム での研修活動  【参加者:2人】 大山豪、藤田健志	研修費	141,425円 (うち政務活動 からの充当額 135,345円)	

・年月日は、支出の事実のあった年月日を記載する。

・内容欄には、政務活動が特定できるよう、年月日、場所、活動内容などが明確になるよう記載する。

# 秋田県湯沢市議会 湯沢政策研究会政務活動報告書（研修会等報告）

○日 時：令和7年8月27日(水)～28日(木)

○活動内 容：研修（全国市議会議長会研究フォーラム参加）

○研 修 先：第20回全国市議会議長会研究フォーラム

札幌文化芸術劇場 hitaru

○研修項目・目 的：

今回の研究フォーラムは①「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」②「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」と題され、昨今の地方議会の実情を扱う。

議員定数削減一辺倒ではない、多様な人材参加を促し議会活動を活発化させようとする動きは、本市議会においても議会広報を兼ねた市民参加型の意見交換会等を催すことで取り組みを推進しているが、これまでの活動に留まらず、本フォーラムの参加を通して他市議会の事例を一度に学べる機会を得、議会活動の活発化に役立てようとするものである。

また、地方議会議員のなり手不足の正体(実態)は、様々な見解が指摘されているが、本フォーラム参加者の指摘を聴講し、その内容を今後の議会活動の参考としようとするものである。

○政務活動費の使途項目：研修費

○参 加 者：藤田 健志・大山 豪2名

○報 告：

①第一日目 基調講演 伊吹文明氏

②第一日目 パネルディスカッション「多様な人材の参画促進の観点から地方

## 議会議員のなり手不足問題を考える」

コーディネーター 辻 陽 近畿大学法学部教授

パネリスト 牧原 出 東京大学教授

白石 洋一 読売新聞東京本社政治部次長

山下 節子 山口県宇部市議会議長

長内 直也 札幌市議会議長

### ○パート 1 地方議員のなり手不足問題

→令和 5 年自治法改正、地方議会の役割、職員の役割の明確化

(冒頭、パネリストからスライドに沿って前段の議論)

牧原：本テーマに次の 2 点を提示したい、

①地方制度改革が進んでいる点。

②高齢者が増えている、これにどう対応するか。新型コロナで切実になった。人口減を切り口にどう対応するか、イノベーションが何を地方にもたらすかという点。

・技術革新へのリテラシーが鍵(今どういうアプリがあるか、どういうツールがあるかでやれることが逐一変わる)、数値→データ→システム(職員・市民がどうこれを涵養するか)

・情報システムのリテラシーは、慎重に変化に対応する自治体法務のリテラシーとは正反対の方向性を持つ

・多様なリテラシーとその相互調整が「自治」の基盤へ

白石：地方自治に興味を持った理由、スライドにはほぼ触れず、自身の記者生活の話、他(世俗的な話がほとんど)

山下：自治法改正に伴って規定された文言のうち、「多様な人材」とは、誰でも良いというわけではなく、資質と見識のある人材の参画促進という観点から考える。①現役世代が立候補しやすい環境を整えること②市民に議員の仕事の魅力を知ってもらうこと、の 2 点から考えたい。(報酬の議論と市民への議員活動の周知が肝要と訴えられ、他宇部市議会の事例紹介)

長内：主権者教育への取り組み、事例紹介。キッズページや市議会こども教室。

(冒頭の議論終わり)

(以下、コーディネーターの整理とパネリストのコメント交互)

辻：パネリストの初回議論のまとめ、報酬の議論、サラリーマンの様な立場の人が立候補できない環境等について指摘。ほか、スライド通り。パート 2 へ

## ○パート 2

長内：無投票や定数割れも珍しくなく、深刻な状況。3つの点①自治法改正について、各自治体の取り組みが大事②若者女性会社員が立候補しやすい環境整備、公費負担制度の拡充と議会参加の際の休暇取得制度を求める声。国や民間企業の取り組みであるが、自治体でもできるところをやること③報酬について、有能な人材が資金的経済的な理由で立候補できないことは避けるべきであること。

山下：健康保険と年金についての問題について指摘。スライド(冊子資料なし、どの年齢で選挙に出たら、年金や社会保険料の負担がどれくらいかを説明した棒グラフ)のデータを元に説明。全国市議会議長会の取り組みについても説明。

白石：国会議員も地方議員も政治にはお金がかかるという共通項。立候補するためにお金がかかる。他、スライドで説明。ある政党幹部の話では、リクルートする人のうち本当に出てほしい人からは断られるケースが多く、2番手3番手に回ることが多い、との談。

牧原：令和5年の自治法改正には意味がないという意見も多数であった(改正時の当事者ヒアリング)。なりたい人は多いけれども、なる人が少ないので。じっと見てる人の中に多い印象がある。(スライド14を引用)→議会のオンラインについての意見が出たが、本市議会は既に現状可能な取り組みをほぼ完遂している。

辻：ここまでコメントのまとめ、整理、パート3へ

## ○パート 3

牧原：持続可能な地方行政のあり方に関する研究会のスライドから、具体的な方策等について意見。地域の「尊厳」による安心感と若者世代の満足感のバランス、議会における不变の熟した議論の場を活性化を人口減の中でも保ちたい。

白石：スライド(解決に向けて考えたこと)の通り。日本の選挙は身銭を切る選挙だ、ということが取材からわかる。寄付税制の見直しや、海外ではおらが先生で支える習いが多いように思える。皆様の活躍をお祈り。

山下：結局は無駄に使ってしまったお金も多い。議会に市に突って本当に何が必要かを判断できる、政策論争ができるくらいの議会になるべきで、励むべき。自治会の延長のような議論ばかりしてはいけない。(ここで会場から拍手、その通りの声)議員活動の整理は必要であり、職業としての市議会議員になりたいと思える人希望する人が出てくること、現職の動きで決まることを提言とする。

長内：志半ばで引退する人もいる。旭川市議会のハラスメント防止についての取り組みについて紹介。

辻：パネリストの提言についてまとめ、整理。

～パネルディスカッション終わり～

質疑応答

Q.無投票にならないように定数の削減について、被選挙権の拡大について

A.山下：報酬と定数は直接関係ない。財政上の負担があるので、委員会が運営できるくらいの定位数は維持するべきと考える

長内：報酬を下げずにお金の使い方を考えたことがあった。ただ、民意を汲みには定数を増やすべきという意見があり折り合いが付かない。明確に何名に議員1人という数字が出てこないし決めにくい。議論が進んでいけばいい。

Q. A.Iについて。生身の人間である必要性について(牧原指名)

A.どこまで信頼関係ができるか、人間が持つ力をお互い信じること。A.Iを使って活発な議論ができる可能性が高い。機密情報に気をつけて使ってみる、試し試し使うこと。

Q.本業での議員活動ができること？よく聞き取れない、海外事例ご存知か(白石指名)

A.立候補休暇の例はある。休暇しどなど。ただ本邦ではさまざまな論点があって職場の理解が追いついていないような雰囲気、社会でどう考えているか。議員活動について社会がプラスに考える様になると変わるかも。

## ②第二日目 課題討議「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

コーディネーター 牧瀬 稔 関東学院大学法学部地域創生学科教授

事例報告者 今井 康善 長野県岡谷市議会前議長

平神 純子 鹿児島県南さつま市議会議員

中野 進 石川県白山市議会議長

牧瀬：議論前の情報提供

・なり手不足とは何か(定数に満たない状態) ・統一地方選における無投票率の推移

・諦観的なり手不足 ・必然的なり手不足

→今回の議論は、「必然的なり手不足」

・パネルディスカッションの論点

①地方議会議員のなり手不足問題への具体的な取り組み内容

②地方議会議員のなり手不足問題の成果と課題

### ③地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けた地方議会への提言

①について、

今井：岡谷市議会事例紹介(スライド通り)

平神：南さつま市議会事例紹介(スライド通り)

中野：白山市議会事例紹介(スライド通り)

牧瀬：これまでの議論では、情報共有が大事、情報発信ではなく議員間、議員と市民との情報共有が共通している。

②について、

中野：意見交換で分かったのは、議員は専門的な知識を持って解決してほしいという意見が多い。ご意見版みたいな程度の話ではなくて、しっかり政策提言してほしいという意見。若い世代が出ようと思ったら、昨日の議論でもあった報酬の議論が当てはまる。市民からこの様な意見が得られたのが主な成果。他に立候補の制限を緩和した等。

平神：諦めずに続けることで成果は出てきた。

今井：シンポジウムと対話集会を経て、ぜひ参加してみたいという人が実際にいた。

住民に議会の役割や中身を知ってもらうことは重要だということ、他はアンケート結果の通り。

牧瀬：パネリストの報告のまとめ、整理。立候補が増えている、活動の持続性、EBPM(Eがemotionとも考える)がキーワード。

③について、

今井：見える化が大事。学校との連携も大事で、まだまだやれることがある。多様な人材が増える様な環境整備が必要。報酬や活動環境を見直す。ICTを使って負担を減らす工夫も必要。できるだけ自己負担を下げ、公費負担を拡充することが必要。例として佐久市議会は市長と議会の二者で市内十数箇所で正つ冥界を実施。新人多数立候補したことがあり、なり手不足は対話をすることで解消の方向に拓かれるこことを提言。

平神：市民から、何をやっているかわからない意見がある、議員は議員の職は大事だということがよく分かっているが、市民との間にギャップがある。また、議員側も賛成賛成ばかりで形骸化している面も。

中野：市民、各種団体と意見交換を重ねることが大切。議員の資質向上ができるこことは大切。知識を持って提言できること、執行部に対してプレッシャーになるから良いことで市全体の活力になる。

牧瀬：資質向上は重要。対話で拓かれるという点は大きい。セットでやれるといい。

ここから質疑応答

Q.今回なり手不足がテーマになっているが、解消された時。みなさんが落ちることになってしまうことがある。これをどうお考えか。

A.平神：周りに「出てください、出てください」と言っていたら、実際落ちたことがある。こうなっても良いように職は持っておく様にすべし。

中野：保身に走ると議員じゃないと思っている。

牧瀬：議員を身近に・・・。(スライド)

Q.報酬審議会が他市の例とか、標準的なのは何かしか議論されない風がある。

A.中野：事前知識を持った上で議論が必要。(スライド p23)

Q.なり手不足の解消の動いたことによって、自身の活動や政策に反する人が出てくる様な時は・・・。

A.今井：一致する様な人たちを集める様にはする。ただ、さまざまな人が入ることが望ましい。

平神：質問の手伝いをしなければならない様な人もいたが、応援したい、資質あるなと思える人は歓迎。

中野：やっていくうちに考え方や想いは変わっていくことはあるだろう。

質疑応答終了

牧瀬：今のうちに気がついたことはどんどんやっていってもらいたい。

終了

○感 想：

藤田：

なり手不足を考えるのは結構だが、選挙があって民意を受け、議員になったとしても、資質と見識が問われる。ある程度勉強し続けられる人でないと、議員になったとしても有権者の負託に応えられる様でなければならないと感じた。闇雲に声がけしてしまうと、議会は合意形成の場であることを無視する様な人材が入ってしまえば、それが、なり手不足の解消と言えるか疑問に感じる点がある。

大山：

議員が何をしているのか、議員はその重要性を知っているが、有権者にはあまり知

られていない現状を考えると、議会と市民との情報共有が最重要と考える。これまで本市議会では市民参画を促していたが、あえて足りない点といえば、情報共有の手段が少ないとことだろう。牧瀬教授の求人広告例が特に印象的だった。

○写

真：(画質を落として掲載)





様式第7号（第8条関係）  
(会派用)

令和7年度政務活動費収支報告書

令和7年10月31日

湯沢市議会議長 様

会派の名称 湯沢政策研究会  
代表者氏名 共同代表 大山 豪

令和7年度政務活動費に係る収支について、湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第8条第1項の規定により、次のとおり報告します。

収入の部		(単位：円)	
科 目	決 算 額	備	考
交付金	135,345	湯総第802号	
その他の収入	6,080	自己資金	
収入合計	141,425		

支出の部		(単位：円)	
科 目	決 算 額	備	考
調査研究費	0		
研修費	141,425	令和7年8月26日～28日	
広報費	0		
広聴費	0		
要請・陳情活動費	0		
会議費	0		
資料作成費	0		
資料購入費	0		
人件費	0		
事務所費	0		
事務費	0		
支出合計	141,425		

様式第6号(第7条関係)

### 令和7年度会計帳簿

会派名(議員名) 湯沢政策研究会

収入

番号	月日	摘要	交付額
1	R7.8.25	自己資金	4,400円
2	R7.8.26	自己資金	1,680円
3	R7.10.16	令和7年度政務活動費交付金(入金)	135,345円
4			
合 計			141,425円

支出

番号	月日	科目	摘要	支出額
1	R7.8.22	研修費	受講料・手数料	18,275円
2	R7.8.25	研修費	旅費・宿泊費	105,500円
3	R7.8.26	研修費	有料道路使用料	1,590円
4	R7.8.26	研修費	乗車券	2,460円
5	R7.8.26	研修費	乗車券	1,680円
6	R7.8.26	研修費	交通費	1,150円
7	R7.8.27	研修費	交通費	750円
8	R7.8.27	研修費	交通費	1,610円
9	R7.8.28	研修費	交通費	1,070円
10	R7.8.28	研修費	交通費	2,000円
11	R7.8.28	研修費	駐車場利用料	1,810円
12	R7.8.28	研修費	有料道路使用料	1,850円
13	R7.8.28	研修費	ガソリン代	1,680円
合 計				141,425円

## 行程表

## 政務活動費(研修費)

・全国市議会議長会主催フォーラム2025@札幌へ参加

日付	用務・行程	交通手段等	距離	運賃	指定席券	視察料	車賃	お土産	宿泊
8月26日 (火)	13:00 湯沢市役所→秋田空港 (14:00着)	自家用車 自動車道使用	50.6km				高速料金 1,590		
	14:50 秋田空港→新千歳空港 (15:55着)	航空機(ANA) NH1833		見積書 24,500					
	16:20 新千歳空港→札幌駅 (17:00頃着) (規程上、指定席券分は計上しない)	JR北海道 快速エアポート		(1230*2) (840*2) 2,460	1,680				
	17:15 札幌駅→ホテル (17:30頃着)	タクシー		1,150					
	17:40 フェアフィールド・バイ・マリオット札幌21,800円素泊/1人1泊 (規程上限 : 9,800円/人で計上)								21,800
8月27日 (水)	8:42 ホテル→フォーラム会場	徒歩							
	13:00 フォーラム参加:札幌文化芸術劇場 hitaru(~17:00)				2人 手数料含 18,275				
	フォーラム会場→意見交換会	タクシー		750					
	18:00 意見交換会:札幌パークホテル (~18:45)								
	意見交換会→ホテル	タクシー		1,610					
	19:00 フェアフィールド・バイ・マリオット札幌21,800円素泊/1人1泊 (規程上限 : 9,800円/人で計上)								21,800
8月28日 (木)	8:30 宿泊先→フォーラム会場(8:40)	徒歩							
	9:00 フォーラム参加:札幌文化芸術劇場 hitaru(~11:00)								
	フォーラム会場→札幌駅	タクシー		1,070					
	15:40 札幌駅前→丘珠空港(16:10)	空港連絡バス		(1000*2) 2,000					
	17:05 丘珠空港→秋田空港(18:15)			見積書 37,400					
	18:30 秋田空港→湯沢市役所 (19:30頃着)	自家用車 自動車道使用	73.2km				高速料金 1,850		
	自家用車駐車場代						905*2 1,810		
	自家用車燃料代(湯沢秋田空港間往復、市議会費用弁償参考値)						168*10 1,680		
	会派:湯沢政策研究会 2人合計		141,425	70,940	1,680	18,275	6,930	43,600	
	うち政務活動費充当額		135,345	70,940		18,275	6,930	39,200	

# ご利用明細 三菱UFJ銀行

ご来店いただきありがとうございます。

このご利用明細は必ずお持ち帰りください。

年月日	取扱店番	お取引内容
0708220329165		お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
020700050557	2039***	口座番号
お取引金額		
***** ¥18,000*		
お取扱い できない場合	残高	*
時刻	積込手数料	おつり
13.18	¥275★	
お振込先 お受取人 ご依頼人	みずほ銀行 十四号支店 普通 0660107 カ) JTB様 ユサ"ワシキ"カイユサ"ワセイサクケンキユウカイ 様	

湯沢政策研究会：政務活動費領収証  
(研修費)

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 協和

NEXCO東日本お客様センター  
0570-024-024  
または  
03-5308-2424

25年 8月26日 14時05分

車種 普通

通行料金 ¥1,590-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

一入口料金所 - 十文字

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。  
便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

登録番号: T9010001095716

取扱番号202-00291332-00



馬場 → ホテル

領 収 書

No. 3917

日付 2025年08月26日

車番 000228 000

メータ運賃 ¥1,150円

合計 ¥1,150円

上記の通り領収致しました

消費税率 10%

登録番号 T5430001014389

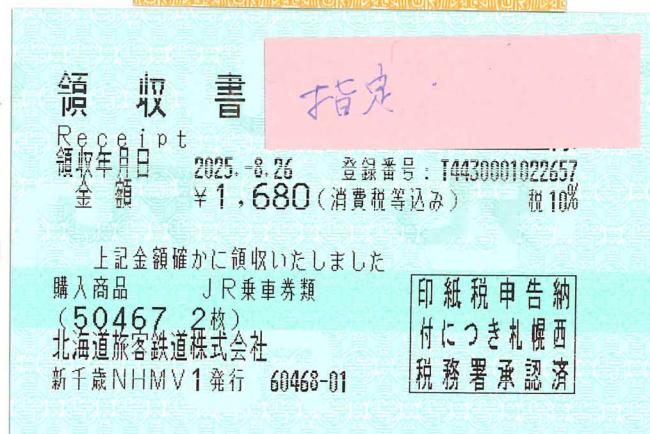
**第** 興亞第一交通(株)

札幌市東区北24条東10丁目1-25

TEL 011-731-2411

毎度ご乗車ありがとうございました。

又のご利用をお待ち申し上げます。



会場 → 競覇交換会

領 収 書

No. 6075

日付 2025年08月27日 18:00  
車番 003021 000  
メータ運賃 ¥750円  
合計 ¥750円

上記の通り領収致しました

消費税率 10%  
登録番号 T7430001020501

お車のご用命はGPS配車の  
札幌タクシー無線センター

ヤクニタツムセン

**☎** 011-892-6000

**JK** 札幌交通株式会社  
南30条営業所

札幌市中央区南30条西11丁目2番12号

**☎** 011-522-2000

No. 005  
領 収 書

2025年08月27日 18:57

車番	507
運賃	1310円
迎車料金	200円
運賃料金計	1510円
通行料他	100円

料金 1610円  
消費税率 10.0%

登録番号: T9430001020227

札幌日交タクシー(株)

元町支店

札幌市東区北21条東21丁目1番30号

競覇交 → ホテル

馬場 → ホテル

領 収 書

No. 3917

日付 2025年08月26日

車番 000228 000

メータ運賃 ¥1,150円

合計 ¥1,150円

上記の通り領収致しました

消費税率 10%

登録番号 T5430001014389

**第** 興亞第一交通(株)

札幌市東区北24条東10丁目1-25

TEL 011-731-2411

毎度ご乗車ありがとうございました。

又のご利用をお待ち申し上げます。

領 収 記 正

No. 0016

日付 25年 08月 28日 14:19

車番 5613 000

メータ運賃 ¥1070円

合計 ¥1070円

上記の通り領収致しました

消費税率 10%

登録番号

T4430001015099

(消費税を含みます。)

現金・クレジット・チケット

S K グループ

札幌市白石区

菊水上町4条4-95-14

北びしハイヤー(株)

**☎** 811-1151

ご乗車ありがとうございました。

お車のご用命はGPS方式スピード配車の

**SK** タクシー無線センター

会場 → 駅



湯沢政策研究会：政務活動費領収証  
(研修費)

領 収 書

③

No. 008522

湯沢市議会  
湯沢政策研究会 様

金額	¥ 105500
----	----------

(金額の頭部に「¥」を記入のこと) 消費税込(税率10%)

上記金額正に領収いたしました

取引明細  別紙のとおり

28/6~28航空券宿泊2泊素泊り



羽後交通株式会社

本社：秋田県横手市前郷二番町4番10号

登録番号 T6410001008788

発行箇所 湯沢旅行センター

※取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

令和 7 年 8 月 25 日

## ご出張費用明細

湯沢市議会  
湯沢政策研究会 様

人数 2名 ご出張先 札幌

秋田県知事登録旅行業第2-122号  
羽後交通株式会社 湯沢旅行センター  
秋田県湯沢市材木町二丁目2-10  
電話(0183)73-1151 FAX73-9881

出発日 令和7年8月26日(火)

R7 7/8作成

交通費							61,900 円
期日	種別	単価	数量	単位	金額	備考	
8/26	ANA航空券(秋田→新千歳)	12,250	2	名	24,500		
8/28	JAL航空券(丘珠→秋田)	18,700	2	名	37,400		
	【ご搭乗者様名】						
	1.オオヤマ ゴウ 様 (35)						
	2.フジタ タケシ 様 (54)						

宿泊費用							55,216 円
期日	ホテル名	単価	数量	単位	金額	備考	
8/26	フェアフィールド・バイ・マリオット札幌	10,900	2	名	21,800	素泊まり	
	〃 朝食代	2,904	2	名	5,808	※現地支払い	
8/27	〃	10,900	2	名	21,800	素泊まり	
	〃 朝食代	2,904	2	名	5,808	※現地支払い	

□航空券は7月9日(水)より取消料金が発生します。  
変更も不可ですので、あらかじめご了承願います。

合計 117,116 円  
(お1人様あたり 58,558円)

## 日程表

	期日(曜日)	行程
往路	8/26 (火)	14:50 15:55 秋田空港 →→→→ 新千歳空港 ANA1833便
復路	8/28 (木)	17:05 18:15 丘珠空港 →→→→ 秋田空港 JAL2825便
【宿泊先】 8/26(火)~2泊 フェアフィールド・バイ・マリオット札幌 札幌市中央区南4条東1丁目 TEL 011-242-0111 禁煙シングルルーム2室 2泊2朝食付き		
【備考】 宿泊の朝食料金は当日ホテルへ直接お支払ください		